



東京都港区浜松町二丁目3番8号

WTC annex 7階

株式会社LTTバイオフーマ

News & Information

2025/5/15

〔共同開発契約締結に関するお知らせ〕

当社は、アルフレッサホールディングス株式会社（以下「アルフレッサ」といいます）とPC-SODに関する共同開発契約を2025年4月28日付で締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当社は独自のDDS技術を用いたバイオ新薬であるPC-SODをオキサリプラチンによるCIPN（（化学療法誘発性末梢神経障害）の予防薬として開発しており、現在第Ⅲ相臨床試験へ向けて準備をしております。この試験が成功し医薬品として承認されれば、世界初のCIPN予防薬として多くのがん患者の治療に貢献します。

このような研究開発の意義と実現可能性にご賛同いただいたアルフレッサと、このたび共同開発契約を締結しました。アルフレッサは、医薬品卸売事業のみならず、製薬、臨床試験受託業務（CRO）、調剤薬局など多岐にわたるヘルスケア関連事業を展開する企業グループであり、2024年3月期の連結売上は2兆8,000億円を超える日本を代表する東証プライム市場上場企業です。同社は有望な医薬品の開発を行っている企業へ資金と開発・製造・流通・販売等を一貫して支援する「トータルサプライチェーンサービス」を提供する事業を展開しており、当社のPC-SODのCIPN予防薬としての開発が評価されその対象となりました。

本契約に基づき、当社はアルフレッサより第Ⅲ相臨床試験に係る研究開発費の一部を受け取ると共に、同社傘下企業が以下の役割を担うことで当社の開発活動を多面的に支援していただきます。具体的には、同社は上市後の流通権を獲得すると共に、治験および製造販売後調査（PMS）等に関わるCRO業務や品質確保を目的とした検査や二次包装などの業務の受託に関する優先権や製造販売権の優先交渉権を獲得します。これによりアルフレッサは、開発から製造・流通・販売に至るまでの一貫した支援体制を通じてPC-SODの早期上市に貢献することとなります。

長年に亘り当社の重要課題であったPC-SODに関する国内パートナー企業の確定は、当社にとって極めて大きな意義を持つ成果であり、企業としての大きな飛躍の契機となるものと確信しております。今後も本事業の進捗状況については、適宜情報を公開してまいります。

ます。

以上